

[平成24年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

届出

東京薬科大学大学院薬学研究科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 東京薬科大学  
平成24年5月1日現在

## 作成担当者

担当部局（課）名 学務部学務課

職名・氏名 部長・前田 耕一郎  
マエダ コウイチロウ

電話番号 042-676-7306

（夜間） 042-676-5111

F A X 042-676-4714

e-mail kmaeda@toyaku.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に

（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 東京薬科大学

## (2) 大学名

東京薬科大学

## (3) 大学の位置

〒192-0392

東京都八王子市堀之内1432番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(ノザワ シュンタロウ) 野澤 俊太郎 (平成17年10月)	(イマニシ ノブユキ) 今西 信幸 (平成23年10月)	任期満了 平成23年10月30日 (24)
学長	(ササツマサノリ) 笹津 備規		
学部長	(イトウアキラ) 伊東 晃		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する内容 → (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は、平成22年度開設の博士後期課程の場合（平成24年度までの3年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象研究科等の名称、定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬学研究科 薬学専攻(博士課程)  博士(薬学)	4年	10人	40人	基礎となる学部等  薬学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度 平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	10 -	-	0.8倍	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A					0.8			

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については、届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次	/		/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
計	[ ]		[ ]		[ ]		[ ]		

- (注)
- ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成21年度 入学者	人	0人	平成21年度	人	人		#DIV/0! %
			平成22年度	人	人		
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成22年度 入学者	人	0人	平成22年度	人	人		#DIV/0! %
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	人	0人	平成23年度	人	人		#DIV/0! %
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	8人	0人	平成24年度	0人	0人		0 %
合計	8人	0人					0 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<薬学研究科 薬学専攻>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教		助手
基礎科目	英語特論	1前	2						1			非常勤
専門科目	医化学特論	1前		2		2	3	3				オムニバス
	臨床分析化学特論	未開講 1前		2		0	3	1 2				オムニバス 履修希望者がいなかったため(24) 平成24年度担当教員変更(24) ・田代講師退職
	生薬学特論	1前		2		1	1	2				オムニバス
	臨床生化学特論	1前		2		2	3	3 2				オムニバス 平成24年度教員昇任(24) ・保住助教が講師に昇任
	衛生化学特論	1前		2		1	2	3				オムニバス
	薬剤学特論	未開講 1前		2		2 1	2 3	0				オムニバス 履修希望者がいなかったため(24) 平成24年度担当教員変更(24) ・瀬田教授就任 ・富田准教授退職
	薬理学特論	1前		2		4	4	2				オムニバス
	薬物治療学特論	1前		2		3 2	4	0				オムニバス 平成24年度担当教員変更(24) ・野口准教授が教授に昇任 ・杉山准教授就任
医薬品情報学特論	1前		2		3	2	1				オムニバス	
演習科目	演習	1通	2			18 16	24 25	15	25 22	2		平成24年度担当教員変更(24) ・瀬田教授就任 ・野口准教授が教授に昇任 ・保住助教が講師に昇任 ・杉山准教授就任 ・高山助教、山崎助教、 東海林助教、多田助教、 瀧沢助教就任 ・佐藤助教所属変更 ・富田准教授退職 ・田代講師退職
研究	実習	1通	2			18 16	24 25	15	25 22	2		平成24年度担当教員変更(24) ・瀬田教授就任 ・野口准教授が教授に昇任 ・保住助教が講師に昇任 ・杉山准教授就任 ・高山助教、山崎助教、 東海林助教、多田助教、 瀧沢助教就任 ・佐藤助教所属変更 ・富田准教授退職 ・田代講師退職
	課題研究	2~4通	10			18 16	24 25	15	25 22	2		実習と同様

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。  
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

### (2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	変更なし
				[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0 \text{ (未開講科目は「0」)}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	100,898㎡	0㎡	0㎡	100,898㎡				
	運動場用地	13,153㎡	0㎡	0㎡	13,153㎡				
	小 計	114,051㎡	0㎡	0㎡	114,051㎡				
	そ の 他	173,849㎡	0㎡	0㎡	173,849㎡				
	合 計	287,900㎡	0㎡	0㎡	287,900㎡				
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		65,582㎡ ( 65,582 ㎡)	0㎡ ( 0 ㎡)	0㎡ ( 0 ㎡)	65,582㎡ ( 65,582 ㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	56室	37室	22室	1室 (補助職員 0 人)	1室 (補助職員 0 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	薬学研究科 薬学専攻 博士課程			33 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	視聴覚資料	機械・器具	標 本			
		[うち外国書]	[うち外国書]				電子ジャーナル		
	冊	種	点	点	点				
	薬学研究科 薬学専攻博士課程	63,271 [8108] 61,531 [8050] (63,271 [8108]) (61,531 [8050])	72 [0] 73 [0] ( 72 [0] ) ( 73 [0] )	18,418 [9992] 12,834 [8296] (18,418 [9992]) (12,834 [8296])	1,425 1,600 (1,425) (1,600)	5,000 (4,900)	50,259 (50,259)		
計	63,271 [8108] 61,531 [8050] (63,271 [8108]) (61,531 [8050])	72 [0] 73 [0] ( 72 [0] ) ( 73 [0] )	18,418 [9992] 12,834 [8296] (18,418 [9992]) (12,834 [8296])	1,425 1,600 (1,425) (1,600)	5,000 (4,900)	50,259 (50,259)			
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	1,846㎡		650	120,000					
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体			
	2,507㎡		多目的グラウンド 1面 テニスコート 4面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの設備費を含む(大学全体)	
		教員1人当たり研究費等	1,200千円	1,200千円	図書購入費	110,600千円	116,600千円		116,600千円
	共同研究費等	11,000千円	11,000千円	設備購入費	50,600千円	50,600千円	50,600千円		
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		790千円 1,260千円	440千円 882千円	440千円 882千円	440千円 882千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		国庫補助金収入、資産運用収入 等							

(注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。



#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	東京薬科大学								備考		
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地			
	年	人	年次人	人		倍					
薬学部											
医療薬学科	6	140	-	840	学士(薬学)	1.03 1.04	平成18年度	東京都八王子市堀之内1432番地1	分子生命科学科は平成20年度より入学定員60名増、環境ゲノム学科は平成19年度より従前の環境生命科学科から名称変更		
医療薬物薬学科	6	140	-	840	学士(薬学)		平成18年度				
医療衛生薬学科	6	140	-	840	学士(薬学)		平成18年度				
生命科学部			3年次								
分子生命科学科	4	160	2	644	学士(生命科学)	1.03 1.07	平成6年度				
環境ゲノム学科	4	60	1	242	学士(生命科学)		平成6年度				
薬学研究科											
薬学専攻博士課程	8	10	-	40	博士(薬学)	0.8	平成24年度				
薬学専攻博士後期課程	3	8	-	24	博士(薬学)	0.58	昭和40年度				平成24年度より学生募集停止
薬科学専攻修士課程	2	5	-	10	修士(薬科学)	2.0 1.7	平成22年度				
生命科学研究科											
生命科学専攻博士前期課程	2	65 40	-	130 80	修士(生命科学)	1.59 1.61	平成10年度		平成24年度より入学定員25名増(40→65)		
生命科学専攻博士後期課程	3	10	-	30	博士(生命科学)	0.73	平成12年度				
大学の名称	〇〇短期大学								備考		
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地			
	年	人	年次人	人		倍					

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科(A C対象学部等を含む)について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「一」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<薬学研究科 薬学専攻(博士課程)>

(1) 担当教員表

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	准教授	野口 雅久 (57)	平成24年4月	薬物治療学特論 演習 実習 課題研究	専	教授	野口 雅久 (57)	平成24年4月	薬物治療学特論 演習 実習 課題研究	平成24年4月昇任のため職名変更(24)
					専	教授	潮田 康生 (57)	平成24年4月	薬理学特論 演習 実習 課題研究	平成24年1月新規採用。大学院教員(教授)に就任(24)
					専	准教授	杉山 健太郎 (43)	平成24年4月	薬物治療学特論 演習 実習 課題研究	平成24年4月新規採用。大学院教員(准教授)に就任(24)
専	准教授	富田 幹雄 (48)	平成24年4月	医薬品情報学特論 演習 実習 課題研究			後任未定			平成24年3月富田准教授辞任(24) 担当の授業科目は、他に担当教員がいるため、支障はない。
専	助教	保住 建太郎 (40)	平成24年4月	演習 実習 課題研究	専	講師	保住 建太郎 (40)	平成24年4月	演習 実習 課題研究	平成24年4月昇任のため職名変更(24)
専	講師	田代 櫻子 (49)	平成24年4月	臨床分析学特論 演習 実習 課題研究			後任未定			平成24年3月田代講師辞任(24) 担当の授業科目は、他に担当教員がいるため、支障はない。
					専	助教	瀧沢 裕輔 (30)	平成24年4月	演習 実習 課題研究	平成23年11月助教昇任、大学院教員に就任(24)
					専	助教	山崎 有理 (30)	平成24年4月	演習 実習 課題研究	平成23年11月助教昇任、大学院教員に就任(24)
					専	助教	東海林 敦 (33)	平成24年4月	演習 実習 課題研究	平成24年4月新規採用。大学院教員(助教)に就任(24)
					専	助教	高山 健太郎 (28)	平成24年4月	演習 実習 課題研究	平成24年4月新規採用。大学院教員(助教)に就任(24)
					専	助教	多田 壘 (31)	平成24年4月	演習 実習 課題研究	平成24年4月新規採用。大学院教員(助教)に就任(24)
専	助教	佐藤 弘人 (43)	平成24年4月	演習 実習 課題研究			後任未定			平成23年9月佐藤助教所屬変更(24)
兼任	講師	Donna J McInnis (57)	平成24年4月	英語特論	兼任	講師	Michael Riley (59)	平成24年4月	英語特論	平成24年4月担当講師変更

- (注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程))の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・年齢は、「認可時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成24年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
 ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
16	62	78	2	18	64	82	2	
( 18 )	( 64 )	( 82 )	( 2 )	[ 2 ]	[ 2 ]	[ 4 ]	[ 0 ]	

- (注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	准教授	富田 幹雄	平成24年3月退職のため
2	講師	田代 櫻子	平成24年3月退職のため
3	助教	佐藤 弘人	平成23年9月所属変更のため

- (注) ・ 届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

各担当の授業科目は他の担当教員で対応可能なため、履修等への影響はない。 変更内容は、学生への教務ガイダンスにおいて周知を行った。
---

- (注) ・ 上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (24年05月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

## 7 その他全般的事項

### <薬学研究科 薬学専攻 博士課程>

#### (1) 設置計画変更事項等 該当なし

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

大学に自己評価委員会あるいはFD委員会が設置されており、学部および大学院の評価が行われる。加えて、毎年度で大学院教員の教育および研究業績の報告が行われている。大学院の場合、教員の資質向上のためのFD活動は、教科担当教員間で下記の実施状況に示すような対応がなされており、質の高い大学院教育の実施に役立てられている。大学院独自の対応が必要な場合は、薬学研究科委員会および薬学研究科幹事会にて審議されることとなる。薬学研究科委員会は、FD活動を含めた薬学専攻運営に関する議案審議と意見交換を行っている。また薬学研究科幹事会は、薬学専攻を含めた薬学研究科に関するより根本的な問題について審議する。

※本学自己点検・評価規程添付

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

薬学研究科委員会は、ほぼ月1～2回のペースで開催されている。委員会では、薬学専攻博士課程における教員の役割や、特論講義あるいは演習・実習における教育体制の資質向上に向け、協議を行っている。委員会への教員の参加状況は良好で、常に2/3以上の研究会員が参加の上、合議が行われる。欠席の委員は、必ず委任状を提出している。また緊急の協議事項等が生じた場合、委員長は薬学事務課の協力の元委員会を速やかに開催し、それが難しい場合にはメール会議などで迅速な対応が取れる体制が整っている。

c 委員会の審議事項等

薬学研究科委員会が4月6日と25日にそれぞれ開催され、薬学専攻の本年度の講義科目担当者や内容、学生の専門科目選択状況、および博士論文審査体制等に関する内容が審議された。当該大学院の特色や育成する人材の目標あるいは博士課程終了後の進路などを、今後の志望者に強くアピールすると共に、また教員の質の向上を常に行っていることによる大学院教育水準の高さを広報することについては、設置当初の目標どおりに遂行していく。

## ② 実施状況

### a 実施内容

記入例)

- ・ 授業方法について研究会
- ・ 教員相互の授業参観
- ・ 新任教員のための研修会 等

・ 講義内容や担当教員への意見等を学生から収集するため、アンケートあるいは意見聴取を各特論で実施している。講義内容の理解度を判定するため、試験を実施する講義もある。専門科目の特論講義は複数の教員が担当するので、専門科目を担当する教員間で特論の分担や効果的な教育方法について意見交換を行っている。

・ 特論講義は公開されており、大学院生以外にも教員および大学院研究生などの自由な聴講が可能である。特に、外来講師の講義の際には、学内教員および大学院生全員に e-mail で講師紹介およびその講義の概要を告知する、などの方策を採っている。外来講師から講義担当教室の教員が意見を伺い、科目担当教員の意見交換のときに、その内容が伝えられ講義改善に反映されるようにしている。

### b 実施方法

・ 大学院特論の講義に関しては、一連の講義の終了後にアンケート、課題レポートでの感想および意見の収集や期末試験などが実施される。実施方法は科目担当教員の合議により決定されている。さらに、次年度カリキュラム編成での科目担当教員会議で、講義内容および実施方法の改善を図る。

・ 大学院生の所属教室での演習および実習については、指導教員が大学院生からの意見を聴取し、適宜、指導教員間での意見交換を行い、指導内容の改善を行う。また特論については、講義担当教員に学生の意見および感想を伝えながら、それに対して担当教員が適宜、修正あるいは工夫を行っている。

・ 大学院修了時には、学位論文公開審査（発表会）、および研究科委員会メンバーによる学位申請者への口頭試問（最終試験）が実施される。発表会の審査員および進行は所属教室以外の教員が担当し、所属教室以外の教員および大学院生に学外研究者を含めた聴講者からの研究内容に関する質疑応答が行われる。担当教員は、それらの意見を基に研究内容を進展させる。

・ 教員は、年度ごとの活動報告書を作成している。活動報告書では講義および研究活動について報告することとなり、これら項目での反省点およびその改善点についても記載されている。大学院教育に関して特に、研究活動の論文および学会発表は、薬学部年報編集委員会が編集する研究年報が学内教員、大学院生、国内外の大学図書館、製薬企業等に配布され公表されている。

### c 開催状況（教員の参加状況含む）

・ 前述したように、講義アンケートおよび試験等に関しては前期終了時に実施し、その結果の集計時に担当教科ごとに開催して教員の資質向上を図っている。

・ 教員間の意見交換に関しては、年度末の次年度シラバス作成時に開催する予定である。

・ 教員活動成果報告書および研究年報の作成は、毎年、全教員の協力の下に行われている。

### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各特論講義および演習、実習を受けた学生からの感想や意見を基に、授業形式、配布資料、パワーポイント、学外講師の選別等に関する改善を行う。

## ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

### a 実施の有無及び実施時期

本年5月現在、特論、英語講義および演習・実習を実施中である。特論と英語講義に対する学生からの意見、感想等は、7月の最終講義終了の後、学生にアンケートを行うことによって実施する予定である。また演習・実習に関する意見や感想は、1年次終了時にやはりアンケートによって収集する。なお、臨床薬学コースの学生は、後期に東京医科大学にて臨床を行うことが可能なため、これに参加する意思やどのような診療科で演習・実習を行いたいかに関するアンケートを実施した。この結果を所属教室の教員や東京医科大学の教員に伝え、その内容を検討しながら、学生の演習・実習の指導体制を強化していく。

### b 教員や学生への公開状況、方法等

研究科委員会にて合議された内容は、議事録として研究科委員会委員を通じ全教員に到達される。学生から収集したアンケートの内容は、後期開始時あるいは2年次の前期開始時に、文書にて学生に公開する予定である。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目に記載する必要はありません。

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成 23 年 7 月に実施した入学試験にて募集定員 10 名に対し、8 名が受験し、全員が合格した。このうち 1 名は進路変更のため入学手続きを行わなかったが、他の 7 名はその後手続きを完了した。平成 24 年 3 月に 2 次募集を行い、1 名が受験して合格した。以上、本年度は合計 8 名の薬学研究科薬学専攻博士課程第 1 期生が誕生した。入学者 8 名の内訳は、平成 23 年度薬学部卒業生 5 名、4 年生薬学部と薬学専攻修士課程を卒業したものの 1 名、獣医学部卒業生 1 名、および社会人（医師）1 名であった。いずれの入学者も、当該大学院で特に医療に関連の深い薬学研究分野に関する勉学と研究を更に発展させるという向学心からの進学であった。以上の結果は、臨床への応用あるいは臨床に直結した薬学分野の研究を目的に設置された本大学院の目的・理念に合致する人材を獲得できたと評価される。これらの学生に対し、平成 24 年 4 月 9 日から大学院特論講義、演習および実習が開始された。特論内容は、薬学出身の学生とその他の理系大学出身の学生のいずれに対しても、学生が将来臨床にフィードバックする研究を遂行できるよう、基礎薬学関連講義はもちろん臨床現場で薬剤師あるいは医師として活躍した経験のある講師の講義を十分に盛り込んである。また、後期から行われる臨床現場での演習・実習に向け、東京医科大学の医師・薬剤師との協議に基づく指導体制が整っている。以上の教育内容は、本大学院設置の趣旨・目的を達成するための中心的カリキュラムであり、これらは当初の目標どおり進行している。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

記入例)

・平成 24 年 5 月 1 日 公表

大学基準協会の相互評価にて学部および大学院の評価が行われる。本点検・評価の認定期間は平成 19 年度から平成 25 年度であるので、平成 24 年度までに各年度行われている自己点検・評価活動を取りまとめ、平成 25 年度にはその結果に基づき申請を大学基準協会へ行う予定である。公表に関しては平成 26 年度を予定している。

##### b 公表方法

記入例)

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各 1 冊を配布
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成 24 年 8 月末を予定）

自己点検・評価報告書を刊行する。その内容の公表については、大学ホームページ上での公開等を含めて今後検討される予定である。

#### ③ 認証評価を受ける計画

記入例)

・平成 24 年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

平成 25 年度に、大学基準協会の評価を受ける予定である。

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

##### a ホームページに公表の有無

( 有 ・  無 )

##### b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

( 24 年 9 月 1 日 )